

「MAINICHI RT」新聞 2010年8月27日(金)



—吉野正浩撮影

砂まみれでスマッシュ

神奈川県葉山町一色海岸で28日に開かれる「葉山オープンビーチテニス大会」の体験会が一色海岸で行われた。パドルラケットやボールが無料で貸し出され、約20人が新しいビーチスポーツを体験した。28日の大会の前後には参加者全員でビーチ清掃を行う。問い合わせはマサスポーツシステム(03・5772・7705)。

ビーチテニス

ブラジル生まれのスポーツ。イタリアやスペイン、米国などで人気が高く、07年に国際テニス連盟が正式種目として認めた。日本では08年8月に静岡県熱海市で初めての大会が開かれた。海岸の砂の上で行われ、ビーチバレーとよく似ている。コート中央に高さ1.7mのネットを張り、空気圧を半分にしたテニスボールをバウンドさせないよう、ダブルスがパドルラケットを使ってラリーする。ラケットの表面には空気抜き穴がある。服装は水着OKで、靴も自由だ。